

南砺市第三セクター改革プラン（案）に関するパブリックコメントに  
おけるご意見と市の考え方（回答）

平成28年2月9日から2月29日まで実施した「南砺市第三セクター改革プラン（案）」へのパブリックコメントにおいて、期間中に2件のご意見をいただきました。  
ご意見と市の考え方は次のとおりです。

No.	市民の意見	市の考え方（回答）
1	<p>五箇山合掌の里・・・ 合掌家屋郡の指定管理は当然と思うが、以前からの地域要望でもある、世界遺産センターなる事前知識を得る施設や民謡研修やフォーラム等の会議が出来る施設が欠かせない考える。みどり館の再編計画もあるが一体的に建て替え複合的ミュージアムとして実施すれば、ユネスコ、富山県の顔として又地域の活性化にもつながると思われる。とすれば財源も国、県から期待できる。計画は長期にならざるをえないが、その間里の努力も勿論であるが十分余剰すると考える。</p>	<p>本改革プランでは、第三セクターの運営を支える根幹的かつ必要不可欠な事業を基幹事業と位置づけ、指定管理料をおおむね10年でゼロを目指し、法人経営の黒字化を達成した後に施設譲渡することを基本としております。 しかし、当該法人が管理する合掌の里を構成する合掌造り家屋については、伝統的家屋保全の観点から、今後も市の責任で保全するべきとし、例外的に譲渡対象から外しているもので、みどり館と生活館については、基幹事業に付随する施設として譲渡の交渉を行っていくこととしております。 よって、ご提案いただいた活用方法については、本改革プランの策定趣旨でもある「独立した事業主体として自立した経営の実現」を目指す上での戦略的事業として、第三セクターにおいて計画していただければと考えております。</p>
2	<p>上平観光開発・・・ 南砺市のエコビレッジ構想やその他の支援事業等を十分に活用することが再編や、地域の活性化に寄与するものと考え。西赤尾地域には落差のある水量を有しており、小水力発電を利用したカンボースキー場一体、ササラ館等に供給すればエネルギーの有効活用ができる。10年で指定管理料を0円になるスケジュールだが、団体本体の経営改善ももちろんであるが、エコとの登用で施設全体の評価レベルを上げることも買取等の次の段階、再編に向けた手順にも進みやすいと考える。</p>	<p>上平観光開発においても改革実施計画を策定して、前項に記載した策定趣旨のとおり、自立した経営実現に向けた取組を実施していただくこととしております。 その中で、ご提案いただいたエコビレッジ構想の支援を活用した事業への取組も、大変有効な手段であると考えておりますので、今後も当該法人に対して、支援事業を活用した新規事業の取組みを促すなどアドバイスにも務めていきたいと考えております。</p>